

## 令和元年度小牧市教育振興基本計画推進会議及び評価委員会会議録

1 開催日	令和元年6月25日(火)	
2 開催場所	市役所東庁舎大会議室	
3 出席した委員	議長 柴田好章 委員 代田義勝 委員 小島康資 委員 植松浩二郎	議長職務代理者 舟橋尚女 委員 長尾英俊 委員 大久珠美
4 欠席した委員	委員 竹中烈	
5 説明のため に出席した 職員	教育長 中川宣芳 教育部次長(学校教育担当) 高木大作 教育総務課長 小川正夫 学校給食課主幹 小川敬介 学校教育課主幹(統括) 加藤和昭 生涯学習課長兼小牧山課長 伊藤加代子 東部市民センター所長 恒川正樹 北里市民センター所長 高木美穂子 図書館長 山田久 保育課長 野田弘	教育部長 伊藤武志 教育部次長(社会教育担当) 松永祥司 学校給食課長 愛野恭彦 学校教育課長 堀田正二 学校教育課主幹 兼子正己 まなび創造館長 平岡麗子 味岡市民センター所長 岩田奈穂美 スポーツ推進課長 武市礼子 こども政策課長 永井政栄
6 本委員会書記	教育総務課庶務係長 林孝政	教育総務課庶務係主査 遠山史織
7 議題	(1) 推進会議議長及び評価委員会委員長の選任について (2) 教育委員会事務の管理及び執行の状況について	

<開会 午後 3時00分>

公開会議

### ○教育総務課長（小川正夫）

定刻となりましたので、ただいまから令和元年度小牧市教育振興基本計画推進会議及び評価委員会を開催いたします。

本日の会議には、傍聴の申し出はありませんでしたので、ご報告申し上げます。

はじめに、資料の確認をお願いします。

まず、次第と席次表が配られております。それと、点検評価シートと資料1から資料4をお配りしておりますが、よろしかったでしょうか。

それでは、中川教育長よりご挨拶を申し上げます。

### ○教育長（中川宣芳）

改めまして、こんにちは。

本日は、委員の皆様方におかれましては、大変ご多忙の中、令和元年度小牧市教育振興基本計画推進会議及び評価委員会にご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。また、皆様方におかれましては、日ごろより小牧の教育行政に対しましてご尽力を賜りまして、重ねてお礼を申し上げます。ありがとうございます。

さて、小牧市におきましては、平成29年3月に教育大綱の中で基本理念を「郷土の歴史を礎に、市民とともに 愛と夢、生きる力を育みます。」と掲げさせていただき、施策等の根本となる方針を定めたところでもあります。小牧市教育委員会におきましても、それを踏まえまして、平成29年度から令和8年度までの中長期的で、総合的な展望に立った小牧市教育振興基本計画を策定しまして、市長部局と連携を密にしながら、教育施策の推進のため、様々な取組みを着実に進めておるところでございます。

本日は、その教育振興基本計画に基づきまして、小牧市教育委員会が平成30年度に実施した教育施策についての評価をいただく会議でございます。本日、委員の皆様方からお出しいただきましたご意見を、今後の計画の推進に反映をさせていくことができればと考えております。積極的に皆様方からのご意見を頂戴いただければ幸いに存じます。本日は、よろしく願いいたします。

### ○教育総務課長（小川正夫）

続きまして、委員の皆様のご紹介に移りたいと思います。

お一人ずつ自己紹介をお願いいたします。

植松先生のほうからお願いします。

### ○委員（植松浩二郎）

失礼いたします。校長会よりということで担当させていただいております。小牧西中学校の植松でございます。なお、後段の評価委員会ではオブザーバーという立場でありますので、どうぞよろしく願いいたします。

**○委員（大久珠美）**

本年度、母親委員長を務めさせていただいております大久珠美と申します。よろしくお願いいたします。

**○委員（小島康資）**

小牧市P連会長を今年度務めさせていただいております篠岡中学校のP長の小島と申します。よろしくお願いいたします。

**○委員（舟橋尚女）**

失礼します。図書館協議会委員の舟橋尚女と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

**○委員（柴田好章）**

名古屋大学大学院の柴田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

**○委員（代田義勝）**

男女共同参画審議会委員の代田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

**○委員（長尾英俊）**

スポーツ推進審議会委員の長尾と申します。よろしくお願いいたします。

**○教育総務課長（小川正夫）**

ありがとうございました。

なお、本日、竹中委員におかれましては欠席の旨の連絡をいただいておりますので、よろしくお願いいたします。

続きまして、本日、出席しております教育委員会事務局職員の自己紹介を行います。

教育部長から順にさせていただきます。

**○教育部長（伊藤武志）**

教育部長の伊藤です。よろしくお願いいたします。

**○教育部次長（学校教育担当）（高木大作）**

学校教育担当次長の高木と申します。よろしくお願いいたします。

**○教育部次長（社会教育担当）（松永祥司）**

社会教育担当次長の松永と申します。よろしくお願いいたします。

**○教育総務課長（小川正夫）**

本日、進行を行っています教育総務課長の小川でございます。よろしくお願いいたします。

**○学校教育課長（堀田正二）**

学校教育課長の堀田です。よろしくお願いいたします。

**○生涯学習課長兼小牧山課長（伊藤加代子）**

生涯学習課長兼小牧山課長の伊藤と申します。よろしくお願いいたします。

**○スポーツ推進課長（武市礼子）**

スポーツ推進課長の武市と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

**○学校教育課主幹（統括）（加藤和昭）**

学校教育課主幹の加藤です。よろしくお願いいたします。

**○学校教育課主幹（兼子正己）**

学校教育課主幹の兼子と申します。よろしくお願いいたします。

**○学校給食課長（愛野恭彦）**

学校給食課長の愛野といいます。よろしくお願いいたします。

**○学校給食課主幹（小川敬介）**

学校給食課主幹の小川と申します。よろしくお願いいたします。

**○図書館長（山田久）**

図書館長の山田と申します。よろしくお願いいたします。

**○こども政策課長（永井政栄）**

こども政策課長の永井と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

**○保育課長（野田弘）**

保育課長の野田と申します。よろしくお願いいたします。

**○まなび創造館長（平岡麗子）**

まなび創造館長の平岡と申します。よろしくお願いいたします。

**○北里市民センター所長（高木美穂子）**

北里市民センター所長の高木と申します。よろしくお願いいたします。

**○東部市民センター所長（恒川正樹）**

東部市民センター所長の恒川です。よろしくお願いいたします。

**○味岡市民センター所長（岩田奈穂美）**

味岡市民センター所長の岩田です。よろしくお願いいたします。

**○教育総務課庶務係長（林孝政）**

教育総務課庶務係長の林です。よろしくお願いいたします。

**○教育総務課庶務係主査（遠山史織）**

教育総務課庶務係の遠山と申します。よろしくお願いいたします。

**○教育総務課長（小川正夫）**

それでは、議題のほうに入っていきたいと思います。

まず、（１）推進会議議長及び評価委員会委員長の選任についてを行いたいと思います。

まず、推進会議議長の選任に入ります。

議長の選任につきましては、小牧市教育振興基本計画推進会議設置要綱第5条第1項の規定に基づき、推進会議委員の互選によりこれを定めるとあります。これに基づきまして、委員の皆様方でどなたかご推薦をいただけないでしょうか。

**○委員（植松浩二郎）**

大変恐縮ではありますが、本教育振興基本計画を検討し、策定をしていただいた

ときの議長でいらっしゃる柴田先生にお願いできればと思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

#### ○教育総務課長(小川正夫)

それでは、皆様からお声をいただきましたので、柴田委員に議長を行っていただきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

それでは、柴田議長からご挨拶をいただきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

#### ○議長(柴田好章)

議長を仰せつかりました名古屋大学の柴田です。

教育振興基本計画の推進及び評価にかかわりまして、事前に資料等をお送りくださって検討させていただきましたけれども、幅広いところで非常に精力的に活動が行われているということについて、非常に心より敬意を表したいと思ひます。何よりも、子どもたち、そして市民の幸せのために教育行政の充実というのはなくてはならないことと思ひますので、本日の会議を通じましても、ますます小牧の教育が発展するように、委員の皆様と力を合わせて議論を進めていきたいと思ひますので、ご協力のほど、どうぞよろしくお願ひいたします。

#### ○教育総務課長(小川正夫)

ありがとうございました。

続きまして、要綱の定めに従いまして、議長職務代理者の指名を柴田議長にお願いしたいと思ひます。

#### ○議長(柴田好章)

それでは、舟橋委員に議長職務代理者をお願いしたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

#### ○教育総務課長(小川正夫)

それでは、舟橋委員に議長職務代理者をお願いしたいと思ひます。

続きまして、これより評価委員会に入りたいと思ひます。

議題の2. 教育委員会事務の管理及び執行の状況についてになります。

平成19年6月に、地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正されたことに伴いまして、教育委員会は毎年、教育行政事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行うことが義務づけられました。この点検・評価を行うにあたりまして、平成30年度の教育委員会基本方針に定める重点施策の取組みについて教育委員会で点検を行いました。その資料が本日、会議資料としてお配りいたしました点検評価シート(平成30年度実績)になります。委員の皆様には、事前にこの点検評価シートをご覧いただき、ご意見を頂戴いたしました。いただきましたご意見は、点検評価シートの各シートの最下段にあります評価委員の意見等の欄に記載をさせていただいております。

あらかじめ委員の皆様からいただいた意見を踏まえ、評価として取り入れる意見を白丸に、確認させていただく意見を黒丸にて、事務局のほうで区分をさせていただいております。評価委員の意見等の欄のうち、評価として取り入れる意見、白丸は、評価のコメントとして取り入れる考えでございます。確認させていただく意見、黒丸は、事務局の自己点検に記載した内容についての質問や疑問等でございます。本日は、確認させていただく意見の黒丸を中心に教育委員会よりご説明をさせていただき、委員の皆様のご意見、評価をお伺いしたいと思っております。

お配りいたしました資料のうち、右上の資料3と記載しておりますのは、学校教育（平成30年度実績）、資料4と記載しておりますのは、社会教育（平成30年度実績）ですが、取組みの実績や事業内容の説明を補足しておりますので、ご参考にしていただければと思います。

なお、この資料3、資料4につきましては、教育委員会各課において、現在、決算報告に向けて集計中でございます。そのため、付記しております数値と確定値とで多少異なる部分が出てくる場合もございますので、あらかじめご承知おきをいただきたいと思います。

また、本日、出席いただいております委員のうち、校長会選出の委員の方につきましては、教育委員会の内部組織でありますので、評価委員会にはオブザーバーという形で出席をいただいております。

要綱では、委員長は委員互選となっておりますが、推進会議に引き続き、柴田議長に委員長をお願いしたいと思います。この後は、柴田委員長に取り回しを行っていただきまして、会議を進めていただきたいと思います。

評価をいただく施策は34と数多くあります。限られた時間でご審査いただくこととなりますので、前半は基本目標1から4の施策を、後半は基本目標5から8の施策をそれぞれおおむね40分程度を目安にご審議いただきたいと思います。

それでは、柴田委員長、よろしく願いいたします。

### **○委員長（柴田好章）**

それではよろしく願います。

議事に入りたいと思います。

まず、前半の基本目標1から4につきまして、事務局より説明をお願いいたします。

### **○教育部次長（学校教育担当）（高木大作）**

はじめに、全体を通して評価の概要と点検評価シートについて、簡単に説明をさせていただきます。

先ほどよりお話がありますように、小牧市教育委員会では、平成29年3月に教育振興基本計画を策定いたしました。この計画は、平成29年度から令和8年度までの10年間の方向性を示しており、本市の教育が目指す方向や具体的な施策を明らかにしております。この計画に定めるもののうち、喫緊の課題、適時適切な事業及び予算状況を勘案して取り

組むべき重点施策を年度ごとに取り出したものが、その当該年度の教育委員会基本方針になります。この基本方針は、毎年、年度当初に教育委員会が定めるもので、その単年度に実施するより具体的な施策を示すものとしております。

平成30年度は、教育振興基本計画の8つの基本目標ごとに重点施策を示し、具体的な取組みとして、「「学び合う学び」を支える教員研修の実施」をはじめとする34の取組みを示し、取り組んでまいりました。

本日は、この平成30年度の教育委員会基本方針において、重点施策として定めた34の取組みについて、点検評価シートのとおり、教育委員会において点検を行いましたので、これについて委員の皆様から事前も含めてご意見、評価をいただき、次年度への改善、見直しへとつなげていきたいと考えております。

それでは、点検評価シート全般にわたることといたしまして、このシートの構成を簡単に説明させていただきます。

点検評価シートの1ページをご覧ください。

教育委員会による自己点検・自己評価として表になっております。記載の項目欄は、まず上段から「具体的な取組み」と「内容」の記載があり、それに対して、その成果、実績評価として、その次の欄の「達成状況」を記載し、この表でいきますと、3ページをお願いいたします。

3ページに移っていただきますと、さらに「課題」と「今後の取組みの方向性」を洗い出して記載してございます。そして、学識経験者の方々による評価、つまりは外部評価として、「評価委員の意見等」の欄に、あらかじめ委員の皆様からいただきましたご意見を記載させていただいております。

本来は、委員の皆様からいただきましたご意見は全て評価とさせていただくところですが、先ほどの説明の中にもありましたように、一部、本日、この委員会において確認をさせていただきたい意見等がございましたので、「評価として取り入れる意見」と「確認させていただく意見」とに、事務局のほうで勝手ながら区別をさせていただいております。この記載にあるとおり、委員の皆様からいただきましたご意見等のうち、頭に白丸をつけて記載しておりますのが評価として取り入れるご意見であり、黒い丸をつけて記載しておりますのが、本日確認をさせていただきたいご意見でございます。本日は、この黒丸をつけたものを中心にご意見を頂戴したいと考えております。

なお、この黒丸のご意見には、二重線で見え消しをさせていただいているものがございます。こちらは、事務局のほうで少し言い回しを修正、またはつけ足し等をさせていただいております。ですので、これが委員のご提出いただいた意図と合っているのか否かを確認の上、評価として取り入れる意見とさせていただきたいと考えたものであります。また、その他、黒丸のご意見には、委員からの質疑として捉えさせていただいたものがございません。これに対しましては、その表の枠の中に記載しました各担当課からの補足説明をご参

考に、ご意見をいただければと考えております。

また、委員の皆様には、本日、会議資料に同封して、「委員記入用」とある点検評価シートという用紙をお届けさせていただきました。この用紙を活用していただきまして、事前にご記入をいただいておりますならば、それをご発言いただいても結構でございますし、本日の会議の中で、議論する中でお気づきになった点、委員ご自身のご意見等を記入していただいても結構でございます。最終的に、このシートにつきましては、会議終了後、事務局で回収をさせていただきますので、忌憚のないご意見をお書きいただければ幸いにございます。

それでは、私からは、基本目標1から基本目標4までの取組みごとにご説明をさせていただきます。繰り返しになりますけれども、シートも多岐にわたり、時間にも限りがございますので、大変恐縮ではございますが、先ほどより申し上げております黒丸のところを中心にご説明をさせていただきますので、よろしく願いをいたします。

それでは、点検評価シートの1ページへお戻りいただきたいと思っております。

まず、基本目標1. 時代を切り拓く力を育む「学び」の充実では、7つの取組みを重点施策と位置づけ取組みをいたしました。

まず、最初のシートでは、「学び合う学び」を支える教員研修の実施についてであります。こちらは、記載のとおり学校教育課が担当し、多種にわたる様々な教職員の研修を実施いたしました。

4ページをお願いいたします。

こちらの部分の確認させていただきたい意見につきましては、語尾において「評価できます」というように表現を変更するように記載をしております。こちらについて、委員の意図と沿うかどうかをご確認いただきたいと思っております。

続いて、5ページでございます。

こちらは、特色ある学校づくり推進事業の実施についてであります。学校教育課が担当し、各学校が、より一層地域の特性や人材を生かした特色ある教育活動を進められるよう、コミュニティ・スクールと一体的に推進できる交付金制度のあり方を検討しました。

6ページをお願いいたします。

こちらで確認させていただきたい意見については、朱書きの部分の字句を一部変更し、語尾にを「複数年で有効活用できる交付金制度を作ることが理想です」というような形で変更しております。委員の方の意図と沿うかどうかご確認をお願いしたいと思います。

7ページをお願いいたします。

コミュニティ・スクールの導入についてであります。学校教育課が担当し、平成30年度より全ての小中学校にコミュニティ・スクールを導入し、各学校に学校運営協議会を設置いたしました。

8ページをお願いいたします。



こちらで確認させていただきたい意見のうち、1つ目の黒丸につきましては、語尾の結びの部分を記載のとおりに変更させていただきました。2つ目の黒丸につきましては、「担当者」という表現を「教員」に変更し、語尾の結びも記載のとおりに補足をしています。この2つともに、委員の意図と沿うかどうかご確認をお願いしたいと思います。

9ページをお願いいたします。

3つ目の黒丸でございます。こちらにつきましては、学校教育課の説明を下に付してございますので、ご参考させていただきたいと思います。これに対しまして、ご意見があればいただきたいと思います。

続いて、少し飛びます。12ページをお願いいたします。

小中学校における英語教育の推進についてであります。学校教育課が担当し、学習指導要領の改訂に合わせ、小学3年生から6年生の英語の授業時間数を増やし、ALTの増員をいたしました。

13ページをお願いいたします。

確認させていただき意見につきましては、まず1つ目と2つ目の黒丸につきましては、語尾の結びの言葉を記載のとおりに変更しております。

3つ目の黒丸につきましては、「全体の教育研修の」の部分を「教員の」に変更した他、語尾の結びにつきましては、「研修を組む必要があると考えます」というように変更しております。それぞれにこの変更が委員の意図と沿うかどうか、ご確認をお願いしたいと思います。

続いて、その下、4つ目と5つ目の黒丸については、下段にそれぞれ学校教育課の説明を付しておりますので、ご参考としていただき、またご意見があればお願いしたいと思います。

続いて、14ページをお願いいたします。

必要に応じた支援員、介助員の配置についてであります。学校教育課が担当し、医療的ケアが必要な児童に対する特別支援教育介助員の配置や、特別支援学級における支援の充実のため学校生活サポータを配置いたしました。

15ページをお願いいたします。

確認をさせていただきたい意見の1つ目、2つ目の黒丸は、学校教育課の説明を付しておりますので、ご確認いただきたいと思います。

続いて、16ページをお願いいたします。

日本語初期教室の実施についてであります。学校教育課が担当し、語学相談員や日本語指導員の配置、日本語初期教室の運営に加え、平成30年度より日本語初期教室室長を新たに配置しております。

17ページをお願いいたします。

こちらで確認させていただきたい意見のうち、1つ目の黒丸については、学校教育課の

説明を付しておりますのでご確認をお願いいたします。2つ目の黒丸につきましては、途中も含め、記載のとおり字句を補足等させていただいております。こちらにつきまして、委員の意図と沿うかどうか、ご確認をお願いしたいと思います。

次に、19ページをお願いいたします。

基本目標2. 認め合い高め合う豊かな心と、健やかな体の育成では、3つの取組みを重点施策と位置づけ取り組みました。

少し飛びまして、21ページになります。

小中学生にすすめるブックリストの活用についてであります。こちらは、図書館が担当し、読書ノートの作成や運用方法の検討を進めました。

22ページをお願いいたします。

確認させていただきたい意見がございます。こちらにつきましては、記載のとおり、字句を一部変更しております。こちらにつきましても、委員の意図と沿うかどうか、ご確認をお願いしたいと思います。

続きまして、25ページになります。

基本目標3. 未来につなげる、安全で充実した教育環境づくりでは、7つの取組みを重点施策として位置づけ取り組みました。

27ページをお願いいたします。

経済的に困窮している児童生徒の保護者に対する費用の助成・就学援助についてであります。こちらは、学校教育課が担当し、就学援助費のうち、新入学学用品費について保護者の負担感を軽減するため、その支給時期を前倒しいたしました。

28ページをお願いいたします。

確認させていただきたい意見でございます。

1つ目の黒丸につきましては、いただいたご意見の冒頭に「支援を必要とする子どもが、」を補足させていただいております。こちらが意図と沿うかどうかをご確認いただきたいと思います。

また、2つ目の黒丸でございますが、こちらは、学校教育課の説明を下に付しておりますのでご確認いただき、またご意見があればいただきたいと思います。

次に、29ページでございます。

児童生徒に対する学習支援の実施についてであります。こちらは、こども政策課が担当し、平成30年度は新たに味岡地区を加え、駒来塾を開催いたしました。

31ページをお願いいたします。

確認させていただきたい意見についてでございます。

こちら、途中と語尾において記載のとおり字句を補足させていただきました。委員の意図に沿うかどうかも含めてご確認をいただきたいと思います。

続きまして、少し飛びます。36ページをお願いいたします。

こども未来創造センター（仮称）の設置についてであります。学校教育課が担当し、教育センターの設置について検討をいたしました。

37ページをお願いいたします。

確認させていただきたい意見のうち、1つ目の黒丸につきましては、記載のとおり、語尾の結びも含め、一部を補足させていただきました。意図と沿うかどうかご確認をいただきたいと思います。また、2つ目の黒丸につきましては、学校教育課の説明を付してございます。ご確認いただきまして、ご意見等があれば、またお願いをしたいと思います。

続いて、38ページとなります。

I C T機器の整備・充実についてであります。こちらは、教育総務課と学校教育課が担当し、小牧市学校教育I C T推進計画の策定や、小学校の借上げパソコンの更新を行いました。

こちらに関しては、40ページをお願いいたします。

確認させていただきたい意見がございます。

1つ目と3つ目の黒丸につきましては、二重線等々を含めて字句の変更をさせていただいております。委員の意図と沿うかどうか、ご確認をお願いしたいと思います。また、2つ目の黒丸につきましては、教育総務課の説明をこちらに付しておりますので、ご確認いただき、ご意見があれば、またお願いしたいと思います。

続いて、41ページでございます。

学校施設の改修についてであります。教育総務課が担当し、小牧南小学校の改築に向け、平成30年度は基本設計を策定いたしました。

42ページをお願いいたします。

確認させていただきたい意見につきましては、記載のとおり字句を変更してございます。こちらにつきましても、委員の意図と沿うかどうか、ご確認をお願いしたいと思います。

続いて、43ページです。

基本目標4. 家庭・地域・学校との連携による教育の推進で、こちらは4つの取組みを重点施策と位置づけ取り組みました。

少し飛びまして、45ページをお願いいたします。

家庭教育講演会の開催についてであります。生涯学習課が担当し、橘こころ氏を講師としてお招きし、講演会を開催いたしました。それに対しては、46ページに確認させていただきたい意見がございます。

記載のとおり字句を一部変更し、また語尾の結びにつきましては、「夫婦で参加したくなるような講演会の開催に取り組んでください」というような変更をしておりますが、委員の意図と沿うかどうかご確認をいただきたいと思います。

47ページをお願いいたします。

放課後子ども総合プランについてであります。こちらは、こども政策課が担当し、児童

の放課後のあり方に関する検討部会を設置し、小学生の放課後のあり方について検討を行うなどいたしました。それに対しましては、48ページをお願いいたします。確認させていただきたいご意見がございます。

1つ目の黒丸につきましては、赤字でありますとおり、一部字句を補足させていただきました。意図に沿うかどうかご確認をいただきたいと思います。また、2つ目の黒丸につきましても、記載のとおり字句の補足や結びにおいて、「保護者や地域への理解を求める取組みも必要ではないでしょうか」という一文を加えさせていただいております。この両方ともに、委員の意図と沿うかどうか、ご確認をお願いしたいと思います。

以上、簡単ではございますが、基本目標1から基本目標4までの取組みの説明とさせていただきます。それぞれの委員の方のご意見を記載し、ただいま黒丸を中心に説明をさせていただきました。それぞれにご確認をいただき、また改めてご意見を頂戴したいと思います。よろしくをお願いいたします。

#### ○委員長（柴田好章）

ありがとうございました。

それでは、ただいまの説明に基づきまして、委員の皆様からご意見と評価をいただきたいと思います。

なお、非常にページ数も多いですので、1、2、3、4と順に区切って進めていきたいと思っております。

1は非常に多くございますので、まずは1の前半としまして、1ページから9ページまでのところで、委員の皆様からご意見、評価がございましたらご発言をいただきたいと思います。

まずは、黒丸を重点的にいきたいと思っております。「確認をさせていただく意見」ということで見え消しで修正が出ておりますが、これについて、もし意に沿わないということなどありましたら、ご発言いただきたいと思います。それから、質問に関しては既に回答が書かれていますので、この回答につきまして、さらにご質問、ご意見があれば伺ってきたいと思っております。それでは、黒丸をまず中心に1ページから9ページまでのところで、ご意見がございましたらご発言をいただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

#### ○委員（大久珠美）

私の文章だと思うのですが、4ページの確認させていただく意見の文章の締めくくりについては、このとおりで結構だと思います。

次に、6ページも私の意見だと思うのですが、確認させていただく意見ということで、「1年単位で予算を組むのではなく、必要な物・年に変動して、有効活用できることが理想」というのは、私としては、1年の予算が決められた中で、予算の使い切りだとか、プールできないとかが一般的に言われていますが、年によって、必要なものは変わると思っておりますので、ちょっとこの辺りは専門分野でもございませぬので、本来できているの

かもしれないのですが、3年ないし5年の中で、必要なものがあるという年は購入し、必要のない年は、あえて予算を使い切ったりするのではなく、プールできるようなシステムがあると、内容の生きたお金の使い方になるのではないかと思います。市の予算の割り振り等は、内容を詳しく理解しておりませんので、素人の意見としてお耳に入れていただいて、そういう形でできたら、学校のほうとしても有効なお金の活用になるのではないかと思いますので、一意見として記入をさせていただきました。修正の内容としては、これでよく分かると思いますので、そのとおりの文章で結構だと思います。ありがとうございました。

**○委員長（柴田好章）**

大久委員、ありがとうございました。

今の2つ目のことについては、事務局からご発言はありますか。

**○学校教育課長（堀田正二）**

貴重なご意見をありがとうございます。

特色ある学校づくりにつきましては、補助金という形で予算をとっております。25の小中学校から、毎年、次年度に実施する事業計画を出していただきまして、それを教育委員会のほうで、外部の委員の方を入れて査定をし、必要な予算を次の年に各学校へ分配させていただいて事業を実施していただくという形で、基本は単年度で予算を組んで、学校のほうでも単年度で執行していただいて、残金については年度末に、市のほうに返金していただくという流れで、これまで続けてきております。

今いただいたご意見につきましては、補助金の学校の裁量の自由度をもう少し高めて、年度をまたがった形でも、例えば5周年記念、10周年記念などの周年記念というときに合わせて、少しプールをした形で事業を実施するような、そんな補助金になるといいのではないかということのご意見かと思いますので、補助金は単年度が原則なのでなかなか難しいのですが、今、この後に出てきますコミュニティ・スクールの交付金というところの中で、また少し形態を変えてなど、すぐにできるものではないかもしれませんが、コミュニティ・スクールの成熟度を見ながら、段階的に、先ほど委員が言われたような方向も一つ検討していきたいというふうに考えます。

**○委員（大久珠美）**

ありがとうございます。

**○委員長（柴田好章）**

ありがとうございました。

その他、9ページまでのところで、委員の皆様いかがでしょうか。発言がありましたら挙手をお願いいたします。よろしいですか。

（発言なし）

また、もしありましたら、後でお出してください。

それでは、10ページから18ページまでのところですね、基本目標1の後半のところに行きたいと思います。いかがでしょうか。18ページまでのところで、ご意見がございましたらお願いいたします。

#### ○委員（代田義勝）

13ページの一番下の黒丸ですが、「時間数の増加により、教育内容がどう改善されどのような成果が上がったのかについて、達成状況が記述されていると分かりやすいのですが、そのあたりは」ということで、これについては、数字だけ記されておりましたので、内容をもう少し詳しく知りたいということでご質問させていただきました。

授業時間数が増えた分、特に質が下がることもなく、しっかり質も維持しながら実施できたということなので、こちらはこれでよく分かりました。

#### ○委員長（柴田好章）

その他、いかがでしょうか。

#### ○委員（代田義勝）

17ページですが、白丸の3つ目です。白丸ということで、私の意見を評価として取り入れていただけるということでありありがとうございます。

まず、日本語初期教室に室長の配置をされたのは、素晴らしいことだと思います。もう一つは、日本語初期教室の在籍期間についてですが、私は、20年ぐらい前になるのですが、スウェーデンに一家で留学に行っていた経験があり、そのとき、子どもがまだ5年生だったのですが、学校でしょっちゅう喧嘩をしてくまして、私が学校に呼ばれて、先生と子どもの間に入って話をするのですけれども、やはり全く言葉が通じないというのはかなりストレスになっていたようです。スウェーデンでは、外国人に対しては、言葉の専門の小学校があり、そこで集中的に教育しまして、一般の地元の学校でも大丈夫だろうという語学力をつけたら帰すというような形をとっています。ですから、大抵1年以上在籍することが多いのですが、そういうふうに徹底して言葉の力を身につけさせてあげてから地元の学校に帰すというようなやり方が非常にいいと思っております。ですから、小牧の日本語初期教室も3か月と言わず、もう少し長期化できないかと考えます。

それと、やはり多言語化についても、子どもはストレスをためておりますので、そこをケアするような形で支援していただければと思います。よろしくお願いいたします。

#### ○委員長（柴田好章）

そのようにお願いしたいと思えます。

#### ○学校教育課主幹（統括）（加藤和昭）

にじっこ教室についての貴重なご意見をありがとうございます。まず、現在の実態をご報告させていただこうと思いますが、本室である大城小学校のほうは、今、中学生が3名、小学生が9名、合わせて12名の在籍という状況です。在籍期間が3か月ですので、いろいろと入れ替わりながら常時十数名が在籍している状況でして、在籍期間を1年間に変更

しますと、かなりの人数になってしまうということも考えられますので、今のところとしては、やはりこの3か月というのをワンクールとして進めてまいりたいと思っておりますが、今いただいたご意見も参考にさせていただきながら、子どもたちが学校へずっと入っていけるような環境づくりを進めていきたいと思っております。よろしく願いいたします。

#### ○委員長（柴田好章）

このことについては、白丸、黒丸含めて意見がたくさんついていますので、ぜひよろしく願いしたいと思います。

その他、いかがでしょうか。18ページのところまでです。基本目標1のところ一旦区切りたいと思いますが、よろしいでしょうか。

#### ○委員（大久珠美）

17ページの一番下の黒丸の意見が、私の意見だと思うのですが、「東地区はできて、」というところは削除していただいて結構ですので、記載のとおり文章の変更をお願いいたします。

#### ○委員長（柴田好章）

このような修正でよろしいということですね。ありがとうございます。

他は、よろしいでしょうか。

#### ○委員（舟橋尚女）

白丸でもいいですか。

戻ってしまうのですが、3ページの1つ目の白丸の下から3行目に「教員研修については、学校は教員で育つ」というふうに書かれているのですが、反対だと思います。「教員は学校で育つ」というふうなので、修正をお願いします。

#### ○委員長（柴田好章）

そのとおりですね。これは私の意見ですが、申し訳ありませんでした。

教員は学校で育つ、これは鍵括弧でもいいかもしれませんが、今、国の施策がこれで進んでおりますので、修正をお願いします。

その他、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

（発言なし）

それでは、前半のところでもたありましたら、戻って結構だと思いますので、一旦進めます。

基本目標の2に入ります。

19ページから始まりまして、24ページまでが基本目標の2に該当します。

このところで、ご意見がございましたらよろしく願いいたします。

いかがでしょうか。よろしいですか。

（発言なし）

またありましたら、戻ってお願いいたします。

それでは、先に進みたいと思います。

基本目標3にまいります。

基本目標3は25ページから始まります。はじめが、経済的理由で進学が困難な生徒への経済支援、2つ目が経済的に困窮している児童生徒の保護者に対する費用の助成・就学援助、3つ目が児童生徒に対する学習支援の実施、それから4つ目が、こども夢・チャレンジ事業の展開、5つ目がこども未来創造センター（仮称）の設置に関して、6つ目がICT機器の整備・充実、最後が学校施設の改修ですね。この42ページまでのところで、ご意見がございましたらお願いいたします。19ページから42ページまででございます。

### ○委員（大久珠美）

28ページの赤字のところ、「支援を必要とする子どもが、」というつけ加えは、このほうが分かりやすいと思いますので、ぜひそれでお願いしたいと思います。

それから、40ページの最後の黒丸についてですが、先日の授業参観を拝見して、プロジェクターも高額だとは思うのですが、現在のプロジェクターを使った授業でも、実際のところはひび割れていますが、とても分かりやすかったので、タブレット型パソコンとの値段の違いがどのくらいあるか分からないのですが、今の使い方でも授業は楽しくできていたのでいいかと思います。また、副教材のほうも、一時のための教材を一つ一つ購入しなければならないのだとするならば、タブレット型パソコンのように、全体で使えるものであればペーパーレスにもなりますし、その他の副教材を1つ、2つ削除することで経営的にも変わってくると思いますので、この文言でいいと思います。

また、42ページのほうですけれども、最後のところで、「老朽化した篠岡小中学校」というところですが、トイレ改修などを計画的に進めていただけるといいという要望です。済みません、全体の評価ではありませんが。以上です。

### ○委員長（柴田好章）

ありがとうございます。

トイレを中心に、改修を進めてほしいということですが、その辺りの説明をお願いします。

### ○教育総務課長（小川正夫）

まず、プロジェクターの件ですが、昨年度は、小学校の各教室に大型のプロジェクターを導入したところですが、今年度9月には、小学校と同様なプロジェクターが中学校にも入ります。

トイレ改修についてですが、今年度は、篠岡小学校の設計を行いまして、来年度、篠岡小学校のトイレを改修する計画を持っています。中学校については、小中学校合わせて25校ありますので、順次、計画性を持って、洋便化を中心にトイレ改修を進めていきたいと考えています。よろしく申し上げます。



**○委員（大久珠美）**

ありがとうございます。

**○委員長（柴田好章）**

その他、ありませんか。よろしいでしょうか。

**○委員（代田義勝）**

35ページが一番下になりますが、白丸で取り入れる意見としてなっているのですけれども、大学生等海外留学奨学金支給事業について、小牧市が支援する必要性をどうしても私は感じられません。他の事業は、何らかの小牧との関わりがあるのですが、これについては、行っている地域もイギリスとかドイツとか、余り小牧に関係ないですよ。留学に行った結果、何か小牧の活性化につながるとか、そういうことでもあれば、そういうプレゼンを経て行ってもらっているなら分かるのですけれども、単に大学生を留学に行かせるということだと、国もやっていますし、これは別に小牧がやらなくてもいいのではないかとこのように思うのですが、いかがでしょうか。

**○委員長（柴田好章）**

事務局からお答えいただけますか。

**○こども政策課長（永井政栄）**

大学生等海外留学奨学金支給事業については、自分の夢のために海外留学をしたいと、それが小牧に還元されることは相当先の話なのかもしれないのですけれども、海外に出て活躍していく人材の育成を目的としています。小牧のためだけにとおっしゃられると非常に難しいところがあるのですけれども、ご自身の夢を実現していただいて、世界に羽ばたく人材になってほしいという大きな思いがあって行っている事業です。

申し込みをいただく際に、お問い合わせとしてよくいただくことは、日本の大学に在籍している方の留学を支援する制度のため、なかなかご相談いただいても条件に合致しないことが多く、制度設計の見直しは必要だと考えております。しかしながら、夢を応援していくという中で、海外留学の支援には引き続き着目をしてまいりたいと考えております。貴重なご意見をありがとうございました。

**○委員長（柴田好章）**

その他、いかがでしょうか。

**○委員（小島康資）**

40ページの確認させていただき意見の1つ目の黒丸のところについてですけれども、このとおりの文章で結構だと思いますので、特に意見はありません。

**○委員長（柴田好章）**

修正のご確認ということで、小島委員、ありがとうございました。

**○委員（舟橋尚女）**

28ページが一番下の黒丸についてですけれども、10月にそれぞれのご家庭に案内が

入るということであれば、幼稚園、保育園を通してパンフレットを配付しなくてもいいと思いましたが、補足の説明をありがとうございました。

#### ○委員長（柴田好章）

ありがとうございます。

その他、いかがでしょうか。

（発言なし）

それでは、私からも1つ、意見を発言させていただきます。

36ページのこども未来創造センター（仮称）の設置のところで、最初の白丸で少し意見を述べさせていただいたのですけれど、研修と研究の一体化というのでしょうか、研究機能はやはり非常に重要で、研究機能を持った研修機能が求められます。研修もできれば集合研修で集めるよりも校内研修を充実するように、各学校の研究、研修が充実するような機能をセンターが持つということが重要になってくると思います。センターに集めて研修する機会ももちろん重要だと思うのですけれども、校内研修を充実するための研究機能を持ったセンターということが非常に重要ではないかと思います。

これが、先ほども少し出ていました、国や県が進めている「教員は学校で育つ」という基本理念にもつながりますし、小牧のこれまでの強みというのが、学校の中での授業研究が非常に充実しているというのが他の市にはない強みだったと思いますので、それを支援するように指導者とか優れた授業のビデオとか、そういうものを先生たちが、そこへ行って参照できるというような取組みをしていただけたらということ非常に強く思いました。今後の未来を見据えた、小牧の教育をよくするための非常に重要な施策になっていくように思っていますので、ぜひよろしくお願ひしたいと思います。

42ページまでのところで、その他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

（発言なし）

では、また何かありましたら戻りたいと思いますので、先へ進みます。

続いて、43ページからの基本目標の4であります。

48ページまでが基本目標4であります。このところについて、ご意見がございましたらお願いいたします。

#### ○委員（長尾英俊）

48ページの評価として取り入れる意見の4つ目の白丸ですが、この最後のところに、「近年の子どもたちの帰宅後の様々な生活実態の把握も大切」とありますが、そういう実態調査は何か行っているのでしょうか。

#### ○こども政策課長（永井政栄）

平成30年度に、こども政策課がアンケートを行わせていただきましたのは、児童の放課後の過ごし方が多様化する中で、どういった放課後の過ごし方が望ましいのかという部分を再度検討して、そこから放課後の活動の全体を見直していくことを大きな目的として

おります。

行ったアンケートというのは、子どもたちに、自分たちがどうしたいかということ聞き、それから保護者の方や学校の先生方には、子どもたちがどういうふうに過ごすのが望ましいのかを聞き、その両方の視点から検討していきたいと考え行ったものです。結果、帰宅後の様々な過ごし方がありましたし、帰宅時間も非常にばらつきが出てきておりました。例えば、学校から塾に行ったり、児童クラブからまたどこかに行ったり、そのようなことが見えてきました。生活実態の把握として、少年センターが定期的に行っている実態調査とは別に、今回改めてアンケートを行ったものです。以上です。

### ○委員（長尾英俊）

学校週5日制が月1スタートしたあたりのころに、休みの日に子どもが何をしているのか、また、どのように過ごさせるのが望ましいだろうかというような視点で論議された時期があったのですが、時代の流れの中で考えてみると、子どもたちの健康や安全を保障しながら活動の場を設定していただくか、親御さんの、特に女性の方の就労に関して、何らかの形で児童クラブに通う子どもたちをカバーしていこうというような様々な考え方があると思うのですが、その辺りを押しなべて、今言われたとおり、広い視野でもって再度見ていこうと、大まかでもいいから子どもたちの生活実態を把握するようなことができるというのを常々思いながら、地域のおじさんをやっております。

### ○子ども政策課長（永井政栄）

ありがとうございます。

学校の先生や地域の方々は、子どもたちが学校から帰るとき以降どうしているのかというのは、あまりご存じないということが今回のアンケートでもはっきり分かりました。また、地域の方が望まれる子どもたちの過ごし方が、保護者の方とは異なってきているということも分かりました。今回のアンケートをふまえて、提言をまとめておりますが、やはり、子どもたちが自分たちで放課後の過ごし方を選べるように、どうやって進めていくかというのが大きな課題だと考えております。ご意見をありがとうございました。

### ○委員長（柴田好章）

ありがとうございました。

その他、ご意見はよろしいでしょうか。48ページのところまでで。

前に戻ってくださっても結構ですので、基本目標1、2、3、4を通して、黒丸、白丸を通してもしご意見がございましたら、お出してください。よろしいでしょうか。

### ○委員（長尾英俊）

1ついいですか。

5ページまでさかのぼりたいのですが、これも評価として取り入れていただけるということで、ありがたく思っているのですが、一番下の白丸の3行目にある、教員採用試験受験者の減少という課題は、今後に響く重大なことだと思っております。やはり魅力ある学

校ですとか、その地域や保護者から見て、それから子どもから見て先生になりたいというような、そういう思いを描くような教育活動はすごく効果的で、意味のあることだと思います。子どもたちに捉えさせたり、保護者や地域の方々に実感させたりというのはすごく大事だと思うので、そういう視点で特色ある学校づくりだとか、魅力ある学校づくりを考えることは、私はすごく必要なことだと思います。小牧市だけがやってもという気持ちもあるのですが、小さな思いや発言というのが大きなうねりになって、一つの教育改革に関わって魅力ある学校になっていくというのは、どこかから動き始めないといけないのではと思っています。これは、私の思いです。以上です。

#### ○委員長（柴田好章）

大学でもこのことは問題になっていますし、愛知県内のいろいろな会議などでも、魅力ある職場に学校をしていくために、若い人たちをもっと引きつけることが必要ではないかと言われてはいますが、いかがでしょうか。

#### ○学校教育課主幹（統括）（加藤和昭）

つい最近の新聞でも講師不足の状況が載っておりました。また、今年度の教員採用試験の締め切りも過ぎまして、やはり応募が減っているというような状況にあります。

やはり、まず子どもたちにとって魅力ある学校を作っていくのが大切だと考えております。そういった部分で、特色ある学校づくりの活動が少しでもできれば、地域とともにある学校というのも含みながら、魅力ある学校づくりに努めていけたらと思いますので、皆さんのご意見も参考にさせていただきながら、少しでもよりよい教育環境を整えていくために頑張っていきたいと思います。貴重なご意見をありがとうございました。

#### ○委員長（柴田好章）

その他、いかがでしょうか。前半部分の1から4のところ、ご意見がございましたらお願いします。よろしいでしょうか。

（発言なし）

ありがとうございます。

それでは、後半の基本目標5から8の施策にいきたいと思いますので、まず事務局より説明をお願いいたします。

#### ○教育部次長（社会教育担当）（松永祥司）

それでは、私から、基本目標5から基本目標8までの取組みを説明させていただきます。

点検評価シートの構成は、基本目標1から4までのものと同様でございますので、恐れ入りますが、評価委員の意見等のうち、確認させていただきたい意見を中心にご説明申し上げます。

点検評価シートの50ページをよろしく申し上げます。

基本目標5. 豊かな人生を支える、生涯学べるまちづくりでは、5つの取組みを重点施策と位置づけ取り組みました。

まず、市民講座の実施についてであります。

生涯学習課及び味岡・東部・北里市民センターが担当し、各種講座を開催いたしました。  
52ページをお願いいたします。

確認させていただきたい意見のうち、1つ目と2つ目の黒丸につきましては、記載のとおり字句を補足させていただいております。委員の意図と沿うかどうかご確認ください。

3つ目の黒丸につきましては、生涯学習課の説明を付しておりますので参考としてください。

53ページをお願いいたします。

男女共同参画講座の実施についてであります。

まなび創造館が担当し、男女共同参画講座や男性支援講座などを開催いたしました。

56ページをお願いいたします。

確認させていただきたい意見につきましては、記載のとおり字句を補足しておりますので、委員の意図と沿うかどうかご確認ください。

57ページをお願いいたします。

団体等による自主展示・発表活動への支援についてであります。

生涯学習課及び味岡・東部・北里市民センターが担当し、市民会館や各市民センターなどで、ロビー展示やロビー公演を行いました。

58ページをお願いいたします。

確認させていただきたい意見につきましては、語尾の結びを「引き続き実施してください。」というように変更しております。委員の意図と沿うかどうかご確認ください。

少し飛びまして、62ページをお願いいたします。

基本目標6．誰もが参加できるスポーツ活動の展開では、4つの取組みを重点施策と位置づけ取り組みました。

少しページを進んでいただきまして、64ページをお願いいたします。

親子スポーツ教室の開催についてであります。

スポーツ推進課とまなび創造館が担当し、親子で参加できるスポーツ教室を開催いたしました。

66ページをお願いいたします。

確認させていただきたい意見については、いずれも朱書きの部分の言葉を削除し、補足し、ご覧のとおりとさせていただいております。委員の意図と沿うかどうか、ご確認ください。

飛びまして、69ページをお願いいたします。

こども夢・チャレンジカップU-12事業の実施についてであります。

スポーツ推進課が担当し、海外有名クラブによるジュニアサッカースクールを招へいし、交流大会を開催いたしました。

71ページをお願いいたします。

確認させていただきたい意見につきましては、字句の補足や語尾の結びの言葉を変更しております。

72ページをお願いいたします。

基本目標7. 市民がともにつくる文化・芸術の振興では、2つの取組みを重点施策と位置づけて取り組みました。

少し飛びまして、74ページをお願いいたします。

文化財団の活動支援についてであります。

生涯学習課が担当し、こまき市民文化財団に対して補助及び文化事業の委託を行いました。

75ページをお願いします。

確認させていただきたい意見につきましては、一部字句の変更をしております。

76ページをお願いいたします。

基本目標8. 郷土の歴史・文化の保存と次世代への継承では、2つの取組みを重点施策と位置づけ取り組みました。

まず、主郭地区整備基本計画の推進についてであります。

小牧山課が担当し、史跡小牧山主郭地区第11次発掘調査を実施いたしました。

77ページをお願いいたします。

確認させていただきたい意見について、1つ目と2つ目の黒丸ともに、記載のとおり字句の補足をしております。

78ページをお願いいたします。

最後に、資料の展示や体験・講座による啓発についてであります。

小牧山課が担当し、小牧山城史跡情報館を建設いたしました。

79ページをお願いいたします。

確認させていただきたい意見につきましては、最後の一文を削除させていただいております。

以上、簡単ではありますが、基本目標5から8までの取組みの説明とさせていただきます。よろしくをお願いいたします。

### ○委員長（柴田好章）

ありがとうございました。

それでは、先ほどと同様に黒丸のところ、見え消しの修正について、もし、委員の意図とそぐわないところがありましたらご発言をお願いしたいと思います。

それから、事務局から回答のあったところについても、またご意見があれば伺いたいと思いますので、黒丸を中心にしながら、適宜白丸やその他の意見も伺いながら進めてまいります。

それでは、まずは基本目標5のところからまいりたいと思いますので、基本目標5の50ページから61ページまでのところでご意見がございましたら、挙手の上、ご発言をお願いいたします。よろしくをお願いいたします。

いかがでしょうか。

#### ○委員（小島康資）

1ついいですか。

52ページの一番下の黒丸のところですけれども、PRの手段についての回答で、「こまなび」を年に2回発行して、全戸に配布していただいているということですが、4月・9月からちょっと離れている時期のものだと、開催時期を忘れてしまっていたりすることもあると思いますので、例えば、小刻みに発行していただくことは可能でしょうか。講座の数が少なかったり、費用がかかり過ぎてしまったりするかと思ったのですけれども、年2回以上、もう少し分けて発行するというのは難しいでしょうか。

#### ○生涯学習課長兼小牧山課長（伊藤加代子）

ご意見をありがとうございます。

委員がおっしゃられますとおり、確かに年2回で4月、9月の発行となりますと、間があいてしまって、4月のときに配布されてきた内容のところには8月のものがあると忘れてしまうというようなことがあると思います。複数回発行できるかどうかということにつきましては、費用の問題もございますので、今後の参考とさせていただきたいと思います。

#### ○委員長（柴田好章）

その他、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

（発言なし）

また戻ってくださっても結構ですので、次の基本目標6に進みたいと思います。

62ページから71ページまでですが、ここまででご意見がございましたら、お願いいたします。

#### ○委員（長尾英俊）

71ページのところの白丸の3つ目ですが、こども夢・チャレンジカップについて、スポーツ推進審議会委員という立場もあり、かなり以前から気にはしていた事業なのですが、「課題」からずうっと読ませていただいていると、これはいいのかなあというふうに思うような表現がありまして、今後どういうふうな工夫、改善が見られるだろうかということも含めて、様々な視点から再確認して、課題解決のために、どう一歩踏み込んだらいいかということを考えていかなければならない時期に来ているのかなと思います。これまで、何回開催していますか。

#### ○スポーツ推進課長（武市礼子）

こども夢・チャレンジカップでございますけれども、2014年から始まっておりまして、今年で、6回目になります。

### ○委員（長尾英俊）

何か具体的な改善策というか、企業協賛を積極的にやられるだとか、あるいは参加チームや応援の子どもたちがいっぱい集まるようにというような、何か踏み込みが要るように感じています。

### ○スポーツ推進課長（武市礼子）

こども夢・チャレンジカップにつきましては、始まりがACミランサッカースクールさんが小牧にいらっしゃったということで、全国のクラブチームの参加によって、小牧でレベルの高い大会を行うことによって、小牧の子どもたちにもそういったサッカーの試合に出ていただきたいということと、またそれを地域振興につなげていきたいということで始めております。

こちらの課題にも書いてございますとおり、似たような大会が全国で行われておりますので、差別化といいますか、他の大会とは違った魅力を作っていく必要があると思っております。また、この大会に参加できることを小牧のチームの子どもたちも楽しみにしておりますし、この事業自体が商工会議所と共同といいますか、実行委員会形式で行っておりますので、そういった応援してくださる方も満足できる、目標を達成できるような事業となるように検討しているところであります。以上です。

### ○委員長（柴田好章）

では、引き続きご意見をお聞きいたします

その他、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

（発言なし）

それでは、基本目標7のほうに進みたいと思います。

72ページから75ページまでのところで何かありますでしょうか。

（発言なし）

また何かあれば、全体のときをお願いします。

それでは、8にまいります。

基本目標8、76ページから79ページまでのところで、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

（発言なし）

それでは、後半部分の基本目標5から8までのところで、前に戻ってくださって結構ですので、もしまだご指摘していない点がございましたら、最後にご発言をいただきたいと思っております。何かございましたら、挙手の上、ご発言をください。

### ○委員（代田義勝）

よろしいでしょうか、1つ。

52ページの白丸の2つ目ですが、大学の出前講座をぜひ活用していただきたいと思っております。



今、大学も生き残りをかけまして、地域貢献に一生懸命取り組んでおります。私の大学でも行っておりますし、恐らく愛知県内の各大学でも、相当なメニューを持っておると思っています。各大学のホームページ等で見ることができ、恐らくほぼ無料だと思います。それをぜひ活用していただいて、市民の皆さんに紹介していただくような形で、需要を掘り起こしていただければと思います。よろしく願いいたします。

**○委員（大久珠美）**

大学の出前講座のことについてですが、内容の一覧表などはないのですか。

**○委員（代田義勝）**

各大学で出していると思います。

私の大学でいうと、ホームページ上だけでなく冊子も出しています。

**○委員（大久珠美）**

いえ、小牧市として、ご案内等はないですか。各大学のホームページを見れば、見られるかもしれないですけど。

**○委員長（柴田好章）**

事務局の説明をお願いします。いかがでしょうか。

**○生涯学習課長兼小牧山課長（伊藤加代子）**

貴重なご意見をありがとうございます。

各大学で出してみえるとは思いますが、現在、小牧市としての把握はしておりません。

**○委員（大久珠美）**

各中学校でお願いして来ていただいている講師の方も、通常でしたら10万円ぐらいかかる所を無料で講演をしていただいたりして、本当に有意義なものになっているのですけれども、県内の大学の出前講座というのは、私自身、存じ上げませんでしたので、もしこういう活用方法があるのならば、とてもいいものを取りそろえているということですので、一覧表等を小牧市でまとめていただいて各学校に配付していただけたらと思うのですけれども、いかがでしょうか。

**○生涯学習課長兼小牧山課長（伊藤加代子）**

そうですね。おっしゃられるご意見は、とてもよく分かります。

ただ、私どもの出前講座につきましても、非常に安価、もしくは無料の講師料でお願いをしているという状況がございますので、そういった部分も含めて、調査・研究をさせていただきたいと思います。

また、大学の出前講座という形ではないのですが、歴史文化講座の関係で小牧市にあります愛知文教大学さんのご協力を得まして、今年ですと、まなび創造館のあさひホールで講座をやるなどしております。こういった部分も含めまして、今後も研究させていただきたいと思います。貴重なご意見をありがとうございます。

**○委員長（柴田好章）**

私から質問ですけれど、その講座は愛知文教大学さんの公開講座で、場所は市の施設でやっているのですよね。

**○生涯学習課長兼小牧山課長（伊藤加代子）**

はい、そうです。

**○委員長（柴田好章）**

お金のほうはどうなっているのですか。市民に向けて、大学が地域貢献のため無料で提供してくださっているのですか。

**○生涯学習課長兼小牧山課長（伊藤加代子）**

市民の方も、受益者負担ということで、今年度の場合ですと、1回あたり100円という金額でお受けいただいています。ただ、講師料という部分では、市の委託事業の一つとしてやらせていただいておりますので、委託料の中で賄われている状況でございます。

**○委員長（柴田好章）**

大学の公開講座ではなく、市の事業としてやっているのですか。

**○生涯学習課長兼小牧山課長（伊藤加代子）**

大学の公開講座ではなく、市の事業としてやらせていただいております。

**○委員長（柴田好章）**

大学に来てもらってやっているということですね。

**○生涯学習課長兼小牧山課長（伊藤加代子）**

大学と連携をしてやっている事業ですので、大学の方をお呼びして行う講座ではありません。

**○委員長（柴田好章）**

大学は組織として請け負ってくれているということですね。

**○学校教育課主幹（統括）（加藤和昭）**

今のお話に関連して、大学の講座とは少し違うのですけれども、企業の協力を得まして、小学校での三菱重工による飛行機講座など、教育委員会が主催して各学校へ行っていただいているという状況もありますので、学校のニーズに応じて今後も対応していきたいと思えます。

**○委員長（柴田好章）**

ありがとうございました。

その他、いかがでしょうか。

**○委員（長尾英俊）**

75ページの黒丸のところ、「一方では、」というのを「また」というふうに修正していただき、ありがとうございました。

文化財団のこれからということからすると、こちらにも記載しましたとおり、短期的、長期的なロードマップというようなものが必要だと思えます。今年何しよう、来年何しよ

う、再来年何しようというようなスタンスと、やはり財団が目指すものは、文化振興の推進や文化芸術の普及というような大きなものがあるわけですので、それに向けて、進む目標のようなものがイメージされていると、やりやすいのではないかと思います。暗中模索といったら大変失礼ですが、とにかく立ち上げたから頑張ろうというのではなく、恐らく今、私が危惧するようなことはないと思うのですが、再認識していただければいいかと思えます。

**○委員長（柴田好章）**

ありがとうございます。

よろしいですか。

**○生涯学習課長兼小牧山課長（伊藤加代子）**

貴重なご意見をありがとうございます。

文化財団につきましては、今年度で設立3年目になり、事業を重ねながら、工夫をしてくいております。委員のおっしゃられますとおり、短期的・長期的な計画が必要だと思っておりますが、現在は各種事業を展開する中で、反省を生かしながら拡充をしてくている状況であります。いただいたご意見をもとにしながら、今後もいい形で財団が育っていくように支援してまいりたいと思えます。

**○委員長（柴田好章）**

ありがとうございました。

その他、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

（発言なし）

それでは、一通り委員のほうからの意見が出まして、評価が終わりましたので、事務局のほうにお返ししたいと思います。

**○教育総務課長（小川正夫）**

ありがとうございます。

それでは、次第の4のその他に入ります。

長時間にわたりご審議いただきまして、ありがとうございました。

会議終了後には、ご記入いただいた用紙を回収させていただきますので、よろしく願います。委員の皆様からいただきましたご意見、評価をもとに、今後、事務局で点検評価シートをまとめさせていただきます。

本来でありましたら、委員の皆様全員にご確認をいただくところではございますが、委員長と舟橋委員にご確認をしていただきまして、ご承認をいただく形で進めさせていただきますと思いますが、よろしいでしょうか。

（了の意思表示あり）

それでは、今後の予定でございますが、委員長と舟橋委員にご承認、ご確認をいただきまして、点検評価シートを作成し、委員の皆様へ送付をさせていただきますと思います。

7月の定例教育委員会に提出をした後に、9月の市議会へ報告することとなっております。ホームページで公表もさせていただきたいと思っております。

その他で、何かございますか。

(発言なし)

それでは、長時間にわたりまして貴重なご意見をいただき、大変ありがとうございました。

以上をもちまして、令和元年度小牧市教育振興基本計画推進会議及び評価委員会を閉会いたします。ありがとうございました。

<閉会 午後 4時46分>